

# 中学校国語

A問題での平均正答率は72.2%であり、具体的な言語活動の中で、基礎的・基本的な知識・技能を適切に使うことに課題がある。  
B問題での平均正答率は61.0%であり、文章の内容について根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに課題がある。

## 分類・区分集計結果

※平均正答率及び平均無解答率については、P.1の表を参照のこと。

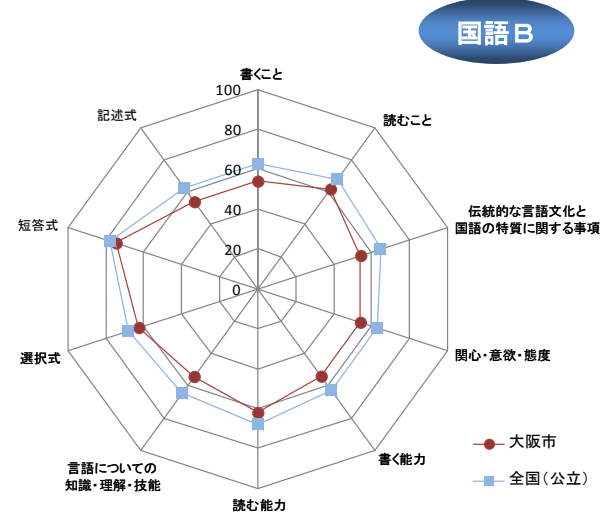
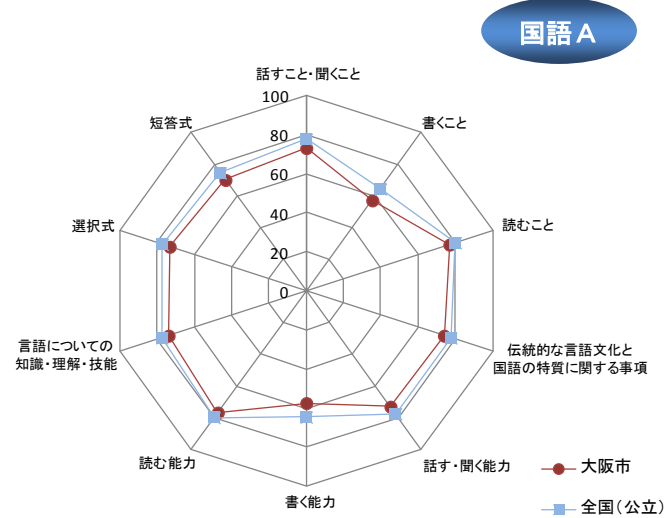
分類	区分	A問題(全32問)			B問題(全9問)		
		対象 設問数 H25	平均正答率(%)		対象 設問数 H25	平均正答率(%)	
			H25 大阪市	H25 全国		H25 大阪市	H25 全国
学習指導要領 の領域	話すこと・聞くこと	4	73.1	77.6	0	—	—
	書くこと	4	57.3	64.5	3	54.0	62.7
	読むこと	6	76.8	80.0	8	61.9	67.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	73.9	77.5	1	54.2	64.6
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	—	—	3	54.0	62.7
	話す・聞く能力	4	73.1	77.6	0	—	—
	書く能力	4	57.3	64.5	3	54.0	62.7
	読む能力	6	76.8	80.0	8	61.9	67.8
	言語についての知識・理解・技能	18	73.9	77.5	1	54.2	64.6
問題形式	選択式	21	73.3	77.3	5	62.6	68.2
	短答式	11	70.2	74.7	1	74.5	77.5
	記述式	0	—	—	3	54.0	62.7

## 領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

■ A問題では、「書くこと」「書く能力」の項目で低い値を示している。

■ B問題では、「書くこと」と「記述式」の項目で低い値を示している。



## 具体的な成果と課題

- 【国語A】 ◇ 「描写の効果を考え、内容を理解すること」や「漢字の楷書と行書との違いを理解して楷書を書くこと」は相当数の生徒ができています。
- ◆ 「文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書くこと」に課題がある。
- 【国語B】 ◆ 「文章を読んで感じたことや考えたことを、条件にしたがって具体的に書くこと」や「複数の資料を活用して、自分の考えを具体的に書くこと」等、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに課題がある。

# 中学校数学

A問題での平均正答率は59.6%であり、関数の意味の理解などに課題がある。  
B問題での平均正答率は37.1%であり、数学的に表現したり、数学的に表現された事柄を読み取ったりすることに課題がある。

## 分類・区分集計結果

※平均正答率及び平均無解答率については、P.1の表を参照のこと。

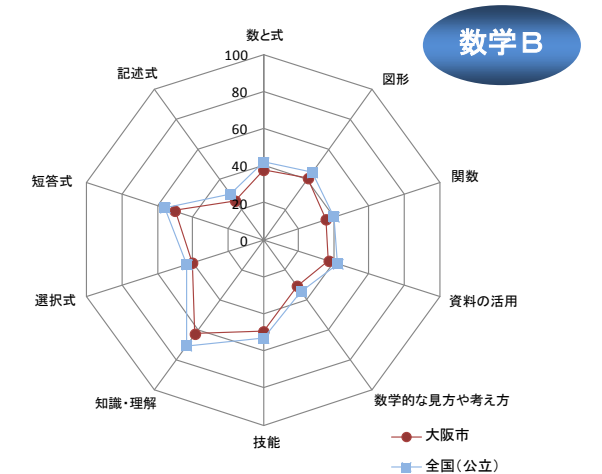
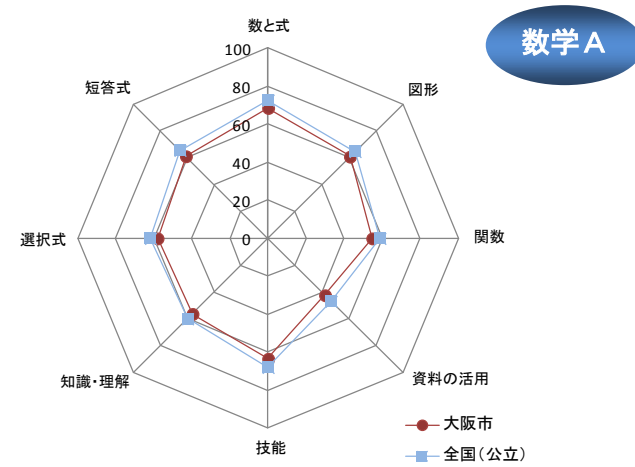
分類	区分	A問題(全36問)			B問題(全16問)		
		対象 設問数 H25	平均正答率(%)		対象 設問数 H25	平均正答率(%)	
			H25 大阪市	H25 全国		H25 大阪市	H25 全国
学習指導要領 の領域	数と式	11	68.6	72.7	5	37.6	41.7
	図形	12	60.8	64.6	2	41.0	44.8
	関数	9	54.7	58.7	6	35.4	40.0
	資料の活用	4	42.3	46.8	3	37.1	42.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—	—	0	—	—
	数学的な見方や考え方	0	—	—	12	30.8	34.8
	数学的な技能	17	63.3	67.9	2	49.5	53.1
	数量、図形などについての知識・理解	19	56.2	59.8	2	62.8	70.7
問題形式	選択式	18	58.1	61.8	4	40.4	43.3
	短答式	18	61.1	65.5	5	50.3	55.8
	記述式	0	—	—	7	25.9	30.3

## 領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

■ A問題では、「資料の活用」の項目で低い値を示している。

■ B問題では、「知識・理解」と「短答式」以外の項目で、低い値を示している。特に、「記述式」と「数学的な見方や考え方」の項目で、例年に引き続き低い値を示している。



## 具体的な成果と課題

- 【数学A】 ◆ 「関数の意味を理解すること」「資料の傾向を読み取ること」等に課題がある。
- 【数学B】 ◆ 「事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること」「事象を理想化・単純化して、事柄を数学的に捉え、他の事象との関係を考えること」「資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を数学的に説明すること」等に課題がある。